

図書室コーナー

■中央公民館図書室 ☎35-2111 内線415



1月・2月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
③	④	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	⑬
⑮	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	⑲	⑳
⑳						
31	※年末年始12/28～1/4は休館					

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	⑪	12	13
14	15	16	17	18	19	⑳
⑳	22	23	24	25	26	27
28	⑲					

○は休館日



町内図書館ネットワーク ～保育園編～ その1

大石田町立大石田保育園訪問

絵本を通じた読書活動の推進について大石田保育園齋藤恵子園長にお話をうかがいました。



Q. どんな絵本コーナーですか？
開園時の平成11年から、保護者会文庫として始まり、今では絵本や紙芝居が650冊ほどあります。毎年保護者会で新しい本を購入しており、町図書室から貸し出されている絵本と一緒に貸出を行っています。

Q. 人気の本はありますか？
年少さんは読んでもらおうと安心する赤ちゃん絵本、年中さんはしかけ絵や「おなら」などの言葉がでてくる本が大好き。年長さんには『ミッケ!』などの探す本や図鑑、なぞなぞの本も人気です。

Q. どんな取り組みをされていますか？
昨年度から保護者会役員に絵本を購入していただいています。絵本は本屋さんでお子さんと一緒に話をしながら買ってきてもらい、『えほんだより』で紹介しています。「この本○○ちゃんが買って来たんだ!」と友達を通して絵本に興味を持ってくれる子もいます。また、今年から保護者会文庫と町図書室の本から一冊ずつ毎週貸し出しています。絵本を通して広がりのある取り組みにしていければと思います。(絵本が沢山あり楽しい雰囲気の良い玄関前でした。ありがとうございました!)



新着図書

- ◇『あの人に暮らす四人の女』 三浦しをん / 著
- ◇『ネンレイズム / 開かれた食器棚』 山崎ナオコ / 著
- ◇『わが心のジェニファー』 浅田次郎 / 著
- ◇『最後の証人』 柚月裕子 / 著
- ◇『夜の写本師』 乾石智子 / 著
- ◇『職業としての小説家』 村上春樹 / 著
- ◇『人魚の眠る家』 東野圭吾 / 著
- ◇『親鸞 完結篇上・下』 山本兼一 / 著
- ◇『夢をまことに』 五木寛之 / 著
- ◇『無音の叫び声 農民詩人・木村迪夫は語る』 原村政樹 / 編著
- ◇『捉ま今日子の備忘録』 西尾維新 / 著
- ◇『国を救った数学少女』 ヨナス・ヨナソン / 著
- ◇『昆虫はすごい』 丸山宗利 / 著
- ◇『シベリア鉄道9300キロ』 蔵前仁一 / 著
- ◇『交通事故と示談のしかた2015第3版』 長戸路政行 / 著
- ◇『美すぎる世界の動物 カラー図鑑』 松原聰 / 著
- ◇『児童書』
- ◇『ぴよちゃんのかくれんぼ』 中川ひろたか / 文
- ◇『こんにちわニ』 中川ひろたか / 文
- ◇『ぼくたちねこのゆかいな8ひき』 中川ひろたか / 文
- ◇『とうふこぞつ』 中川ひろたか / 文
- ◇『つるばら村のパン屋さん』 中川ひろたか / 文
- ◇『ひらけ!なんきんまめ』 中川ひろたか / 文
- ◇『ふしぎ駄菓子屋銭天堂1』 中川ひろたか / 文
- ◇『死霊怪談 恐怖の1週間』 中川ひろたか / 文
- ◇『しあわせは子猫のかたち』 中川ひろたか / 文
- ◇『ノックノック』 中川ひろたか / 文
- ◇『ノントンじどうしゃぶっばー』 中川ひろたか / 文
- ◇『ワンダー R.J.パラジオ / 作 中井はるの / 訳
- ◇『周期表 完全版 ゆかいな元素たち / 科学キャラクタール図鑑』 エイドリアン・ディングル / 文
- ◇『青木宙翁』 青木宙翁 / 著
- ◇『青木ミサ子』 青木ミサ子 / 著
- ◇『五十嵐隆司』 五十嵐隆司 / 著
- ◇『榎本信子』 榎本信子 / 著
- ◇『柏倉ヤス子』 柏倉ヤス子 / 著
- ◇『木村満喜子』 木村満喜子 / 著
- ◇『工藤泰子』 工藤泰子 / 著
- ◇『高橋祐子』 高橋祐子 / 著
- ◇『土屋忠子』 土屋忠子 / 著
- ◇『星川紀一郎』 星川紀一郎 / 著
- ◇『土屋忠子』 土屋忠子 / 著
- ◇『高橋祐子』 高橋祐子 / 著
- ◇『菅野和貴』 菅野和貴 / 著
- ◇『大石美佳』 大石美佳 / 著
- ◇『鈴木多喜子』 鈴木多喜子 / 著
- ◇『小玉春歌』 小玉春歌 / 著
- ◇『佐々木昭治』 佐々木昭治 / 著
- ◇『杜匠一』 杜匠一 / 著
- ◇『伊藤哲夫』 伊藤哲夫 / 著
- ◇『海藤忠男』 海藤忠男 / 著
- ◇『板垣規雄』 板垣規雄 / 著

秋の叙勲で2氏に瑞宝単光章



芳賀芳明さん(緑町)、堀江豊太郎さん(尾花沢市)は、平成元年から仁藤鉄筋(株)に勤務し、現在同社の取締役兼現場指揮にあたり、これまでの大石田中学校をはじめ、地域のインフラ整備に寄与された功績が認められました。

芳賀さん(尾花沢市)は、平成元年から仁藤鉄筋(株)に勤務し、現在同社の取締役兼現場指揮にあたり、これまでの大石田中学校をはじめ、地域のインフラ整備に寄与された功績が認められました。

「保健衛生関係功労者」として表彰



このたび、佐々木英治さん(鷹巣)が山形県知事より、保健衛生関係功労者表彰を受けました。これは長年にわたり、地区内の衛生改善や環境美化に積極的に取り組み、町全体の指導者として環境衛生事業の活性化に寄与したことを評価されたものです。大変おめでとうございます。

あなたの文芸欄

俳句

孫一才立てば歩めや祝い餅
人肌を透けさす日暮れ冬至かな
梅ひとつ入る新米にぎりめし
枯野よりなほ白き鷺舞ひ上がる
山茶花や散りゆくさまも美しき
北国の夕餉に匂ふ納豆汁
羽ばたける白鳥V字我が帽子
母よりも長生きしたし木の葉髪
頬を刺す最上の風や冬ざるる
新そばや吾孫客室直し待つ
白鳥群蛙も我が物面生れ
十一月分として
山やまの紅葉くだりて里燃ゆる
作者訂正により再掲
露草に低く飛び交ふ秋の蝶

短歌

米沢の朝と夕は冷えきびしこたつとみかんが恋しくなるね
昔通った通学路を今日歩いたら思い出にのこる風景がない
年長組の女の子らは三人とも元気が良いよ吾子よ見ならえ
丘畑の茄子もトマトも穫り終へて覆へるマルチシートを畳む
腿にかぶる冷気は乗車する人を電車の中へいざなっている
長男が雷困いに来ると電話あり家族サービスを後にまわして
今年また仮設住まひの古い人に山形芋煮とつや姫振る舞ふ
時の無き世界のことなど思ひつつ立冬の日の雨音を聞く
コンテナに自在車輪をとりつけて引き寄せながらナスをぎぎやく
わかき日の臍ごころの想ひ人いまになつかし冬がちかづく